

その他

国際センター サマースクール「徳島であおう」

本サマースクールは、（１）海外の大学から参加する学生が、将来本学で交換留学生や正規外国人留学生として学んでもらうこと、（２）徳島大学での学習・研究、ならびに徳島の文化について理解してもらうこと、また（３）日本人と他国からの参加学生がお互いに出会い・知り合うことで、今後の国際化に向けた自らへの振り返りをうながすことを目的として実施した。

期 間 ：2016年8月4日（木）～8月13日（土）※8月12日（金）に修了式を行った。

参加人数 ：約100名

海外参加者：38名

日本人学生/一般：のべ約40名

本学留学生：のべ約20名

【中国】 14名

・北京航空航天大学 1名

・大連理工大学 9名

（引率教員1名）

・吉林大学 3名

【韓国】 1名

・韓国海洋大学校 1名

【台湾】 5名

・国立台湾嘉義大学 1名

・育達科技大学 4名

【インドネシア】 19名

・ハントゥーア大学 9名

・University of Aisyiah Yogyakarta 10名

日程

1 日 目 : 8 月 4 日 (木)		
15:30-	徳島駅集合 & ホテルチェックイン	
2 日 目 : 8 月 5 日 (金)		
9:00-11:00	徳島ビジネス体験 (大塚製薬企業見学)	大塚製薬 (オロナミン C・マッチ工場、能力開発研究所)
11:00-12:00	昼食	大塚製薬内食堂
12:10-12:40	徳島ビジネス体験 (市岡製菓工場見学)	市岡製菓
12:40-13:30	眉山へ移動	
13:40-14:10	眉山見学	眉山
16:00-16:15	開講式	日亜会館講義室
16:15-17:50	コースオリエンテーション・大学紹介	

18:30-20:30	サマープログラム合同交流会	ザ・パシフィックハーバー
3日目：8月6日（土）		
10:00-10:20	開会式	両国橋西公園
10:20-11:30	街探！ Awa ぶらり	徳島市内
11:30-14:00	昼食	西富田コミュニティセンター
14:00-14:30	街探！ Awa ぶらり	徳島市内
14:30-15:30	PHOTO CONTEST 発表資料作り	西富田コミュニティセンター
15:45-17:00	発表会	
17:30-19:00	懇親会・授賞式	濱伊
4日目：8月7日（日）		
10:30-12:00	文化の森魅力発見！プロジェクト	文化の森
12:00-13:00	昼食	
5日目：8月8日（月）		
9:00- 9:15	オリエンテーション	日亜会館講義室
9:15-10:45	日本語授業（3つのレベル別）	
11:00-12:00	日本文化体験学習（邦楽）	
12:00-13:00	昼食	
13:00-14:30	日本文化体験学習（茶道）	しんくら会館
14:40	県庁移動	
15:05-17:00	副知事・議長表敬訪問、議場見学	徳島県庁
6日目：8月9日（火）		
9:20-10:20	講義（徳大の海外ボランティア）	日亜会館講義室
10:30-11:30	講義（四国遍路と霊山寺、藍染め）	

12:00-12:40	昼食	常三島又は蔵本
12:40-15:30	キャンパスツアー・研究室訪問	
7日目：8月10日（水）		
9:30-10:45	徳島文化体験 藍染め体験	藍の館
11:15-12:15	徳島文化体験 渦の道見学	渦の道
12:30-13:00	昼食（購入）	パワーシティ
13:30-14:15	徳島文化体験 霊山寺見学	霊山寺
14:30-16:00	ショッピング	ゆめタウン
8日目：8月11日（木）		
Free Day		
9日目：8月12日（金）		
9:30-12:00	振り返り&まとめ（ワークショップ）	地域創生・国際交流会館
12:00-12:30	修了式	
12:30-20:30	自由行動（阿波踊り見学）	
21:00-23:00	バス移動（神戸）	
	ホテルチェックイン	
10日目：8月13日（土）		
ホテルチェックアウト・解散		神戸

講義・活動概要

実施期間 2016 年 8 月 4 日（木）～8 月 13 日（土）

場所 日亜会館 2F 講義室、地域創生・国際交流会館 他（日程参照）

講師一覧

国際センター長	教授	金 成海
国際センター教員	教授	Gehrtz 三隅友子
	教授	橋本 智
	特任教授	内藤 毅
	准教授	坂田 浩
教養教育院	准教授	モートン常慈



オリエンテーション



日本語授業



文化の森魅力発見！プロジェクト



日本文化体験学習



研究室訪問



街探！ Awa ぶらり

日時：2016 年 8 月 5 日（金）

○企業見学（大塚製薬及び市岡製菓） 9:00～12:40



○眉山見学 13:40～14:10



日時：2016 年 8 月 8 日（月）

○県庁表敬訪問・県議事堂見学 15:05-17:00



日時：2016年8月10日（水）

○藍染め体験 9:30-10:45



○渦の道見学 11:15-12:15



○霊山寺参拝 13:30-14:15



地域貢献

地域貢献（多文化交流・地域共生）事業のポイント

- 異なる文化を持った人を受け入れ、共生を目指す地域社会を創造する
～お互いの共生・協労への理解～
- 地域に住む住民としての外国人と日本人の関係を作る
～出会いの場と共存を考える活動の提供～
- 徳島という地域で独自の共生を住民で考える
～将来の共生の担い手に学習課題としての提示～

1. 事業の目的と経過

国際センターは、地域に根ざした異文化理解を進める取り組みを行っている。センターが中心となって①留学生・在住外国人②日本人学生と教職員、そして③地域の人と人とを結ぶ様々な活動を計画・実施している。現在まさに、少子・高齢化といった社会情勢に応じて、徳島県にも外国人労働者が急激に増加する可能性がある。その際、互いに地域住民として共生・協労への理解を図る地域社会（コミュニティ）作りが重要な問題となる。この視点からセンターでは従来の学内の＜講座＞「国際交流の扉を拓く」や学外への「異文化理解出張講座」（教育機関・公民館の依頼による）を進めている。

また平成 25 年度より 27 年度の 3 年間は文部科学省委託の徳島大学留学生交流拠点事業「異文化キャラバン隊による国際化と新たな地域の創成」を基盤に、とくしま異文化キャラバン隊事業 2016 として引き続き活動を行っている。

2. 地域サポーター制度

国際センターには、日本語教育を支援する徳島住民からなる「地域サポーター」と、徳島大学の日本人学生からなる「学生サポーター」の登録システムがある。センターが実施する日本語教育、①集中講習型の日本語研修コース、②外国人留学生・研究者・研究生とその家族対象の全学日本語コース、③学部留学生対象の全学共通教育での日本語・日本事情、④総合科学部の日本語教員養成に関わる科目、⑤地域対象公開講座があり、通年平均して約 30 クラスを開講している。各クラスの要請に応じ、地域または学生サポーターが授業に参加し、会話やスピーチ練習や動詞の変換練習など、またレベルに応じて調査相手・レポートやプレゼンテーションについてのコメント、タスクやフィールドトリップの同行などを行っている。これ以外にもサマースクールをはじめ、センターで行われる事業の支援へと活動を広げている。

12 月 3 日に地域ボランティア（JSS：日本語スピーキングサロン）の協力を得て、本学外国人留学生と学生サポーター、地域サポーター・地域住民と一緒に書道を体験し、その後参加者同士の交流を行った。



書道体験の様子

3. 平成 27 年度の事業から

① 公開講座等

これまで開放実践センターにおいて「国際ボランティア入門ー徳島に住む外国人を支援するとは」から「外国人に日本語を教えるとは」に改め地域のボランティア日本語教員志望者の支援を行ってきた。さらに今年度は昨年に続いて「国際交流ボランティア入門-多文化共生社会をめざして-」とし、以下の内容で実施した。

日	内容
5/9	オリエンテーション
5/16	コミュニケーションの諸相（言語・非言語）
5/23	身体的コミュニケーション
5/30 6/6 6/13 6/20	日本語を学ぶ・教える① - ④ （外国人はどのように日本語を学ぶのか）
6/27	文化庁「生活者としての外国人のための日本語教育」事業に関して
7/4	多文化共生社会をめざして 1（とくしま異文化キャラバン隊）
7/8	美術鑑賞教育と言語（徳島県立近代美術館にて留学生との活動）
7/11	多文化共生社会をめざして 2（活動作りと報告会）

さらに今年度前期には教養教育院グローバル化教育科目授業「国際交流の扉を拓く」を開講し、7月に来徳したドイツ人高校生との交流活動を企画実施し、地域創生・国際交流会館2階で国際交流活動を展開した。さらにセンター実施のサマースクールの活動において、交流を通して街歩きマップや文化の森魅力発見マップを作成するにいたった。（本誌共通教育の項参照の事）

② 地域の学校との連携・支援

徳島地域の初等・中等教育機関との連携事業や国際理解教育・英語教育の支援を行っている。本学留学生と小・中・高校生との交流を通して、地域に住む児童・生徒にとっては多文化を学ぶことが、同時に外国人留学生は日本文化を体験的に学ぶことができています。また、国際センター教員は国際理解に関する出張講義をはじめとし、徳島大学と高校との連携事業のコーディネートや、地域の日本語教育に関して県教育委員会の事業等で支援している。



小学校での交流の様子

③ 高大連携事業：出張講座、SGH支援

国際センターの教員が高校に出向き、国際交流や異文化理解に関する講義を行った。大学の地域への開放と地域社会の向上発展に貢献するという理念に基づいた高校との連携活動である。また、本学は徳島県立城東高校のスーパーグローバルハイスクール事業（SGH、文部科学省指定）を支援しており、講師派遣を行う際の窓口の役割を国際センターが担っている。また、徳島市立高校などにおいても多文化理解の活動を行った。

4. 成果と今後の展開

前述の文部科学省留学生交流拠点整備事業（平成 25-27 年度）「異文化キャラバン隊による国際化と新たな地域の創成ー留学生との交流による多文化共生まちづくりー」を継続して活動を行っている。詳細は <http://caravantai.blogspot.jp/> を参照されたい。今後も常三島キャンパスを本拠地とし、地域のニーズに応えながら、大学と地域の国際化を進めていきたいと考える。